

2019 アートマイル国際協働学習プロジェクト 報告書

日本学校名 [岡山県立岡山一宮高等学校] 担当教諭名 [目崎 浩子] (ユネスコ部 13名)
 相手国・地域 [ラトビア]
 海外学校名 [Talsi State Gymnasium] 担当教諭名 [Leva Sebre]

■実施教科・時間数について教えてください。

アートマイルに関連した 実施教科・時間数	教科	単元名	時間数
	部活動	アートマイルプロジェクト	32

■作品に込めた想いについて教えてください。

題 (テーマ)	We want to live sustainably!
メッセージ (相手と想いを合わせて 世界に発信したいメッセージ)	SDGs の12「つくる責任、つかう責任」をイメージして作成。家庭からの無駄は多く、また私たちがコントロールできる部分なので家庭から出る無駄を描きました。周囲にはパッチワークをあしらいました。繰り返し使おうというメッセージです。



■今回の取り組みの成果と課題はどういった点でしょうか？

成 果	課 題
<ul style="list-style-type: none"> ・SDGsについて知り、考えることができた。 ・日々の生活での無駄について考えるきっかけとなった。 ・相手国が考える日々の無駄を知り、自分たちと比較することができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・SDGsの12番について自分たちの問題として考えることができたが、どう周りを巻き込んで対処していくことができるのか思考を深めるに至っていない。次年度へ向けての課題である。

■アートマイルに取り組む前と比べて相手の国・地域や世界に対して意識はどう変わりましたか？

児童生徒の意識の変化	教師の意識の変化
ラトビアという国になじみがなく、教科書で習った範囲のことしか知らなかった。相手国のことを「衣食住」「世界遺産」「気候」「観光地」等の分野に分けてそれぞれ調べポスターを作成した。結果、文化祭の時など外部の方からラトビアについての質問を受けた時、しっかりと説明できるようになった。	交流が滞った場合も、これが国際交流だと改めて感じた。自分のペースでなく、相手の事情を考慮することを大事にした。

■主な活動の流れを教えてください。

場面	時期	活動内容	児童生徒の反応	実施教科等
出会い 自己紹介	6月 7月 9月	<ul style="list-style-type: none"> ・フォーラムに挨拶を写真とともに掲載する。 ・学校祭を中心に学校の取り組みを紹介する。 ・自己紹介をアップする。 ・相手国について学習しポスターにまとめる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分を表現することを楽しんでいた。 ・文化の違う相手にいかに伝えるか、チームで話し合い、いろいろなアイデアを出していた。 ・調べた担当分野には責任を持って答えられるようにしていた。 	部活動5
共有 テーマ学習	10月	<ul style="list-style-type: none"> ・調べたことを発表しあう。 ・相手国について質問をする。 ・テーマを話し合う。 ・提案できるよう構図を考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・相手国の反応があまりないのでがっかりしていた。スカイプもできそうにないので、その分フォーラムにアップすることを決めていた。 	部活動8
融合 メッセージ作成	11月	<ul style="list-style-type: none"> ・テーマをもとに、構図を考え、フォーラム上で意思の疎通を図る。 ・相手側に構図の提案をし、最終決定を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・構図決定の際、期限がある中、相手からなかなか返事がもらえずもどかしい思いをしていたが、自分たちの思うようにいつも事が運ぶわけではないのが国際交流であると、意識を新たにしていて、イニシアチブを取ろうと自ら動いていた。 	部活動7
創造 壁画制作	11月 12月	<ul style="list-style-type: none"> ・キャンパスに下書きをする。 ・色付けをする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・活動状況をこまめに写真に撮り、積極的にフォーラムにアップした。相手とのやり取りの不足を、こちらからの発信で補うよう努力していた。 	部活動8
評価 振り返り 自己評価	2月 3月	<ul style="list-style-type: none"> ・次年度4月用に、ニューズレターを作成。 	<ul style="list-style-type: none"> ・校内展示するための壁画がないため、ニューズレターに例年より多く写真を入れることにした。 	部活動4

■アートマイルでついた力について教えてください。

評価 (5:とてもついた 4:ついた 3:どちらともいえない 2:あまりつかなかった 1:つかなかった)

学習目標・つきたい力	評価	先生が手応えを感じた場面・理由
自文化を理解する力	5	相手国を模様で表現するとき、日本の伝統的な模様についても考える機会となった。また、SDGsの12番を考えるにあたり、身近なごみ問題について考える機会となった。
異文化を理解する力	4	相手国について調べたことをレポートにまとめた。自分の調べた分野については質問にしっかりと答えられるようになっていた。
情報活用能力 (収集・まとめ・発信)	5	相手国とのやり取りの際に、少しでもこちらの様子が伝わるように、いろいろ工夫をしていた。自己紹介にビデオを使ったのも今年度が初めてである。
コミュニケーション力 (双方向・共感・英語)	3	スカイプができなかったため、対面のコミュニケーションはできなかった。その分フォーラムを使用したため、例年以上に多くの生徒が携わることができた。
批判的に思考する力 (客観的・論理的視点)	4	相手国に関して調べたことが真実なのか、直接相手に確認をした。また、自分たちが思っている「外国人が日本について持っているイメージ」についても、確認のための質問をしていた。
主体的に考え行動する力	5	相手国と連絡が全く取れなくなった時に、日本側の壁画の進捗状況をこまめに相手国に連絡を入れていた。デザインを決めるときも、相手国の連絡がない中、相手側の気持ちになって、描きやすさとわかりやすさを考えて図柄を決めていた。
他者と協働する力 (学級内・海外の相手)	4	役割分担をしっかりと行い、限られた時間を有効に使うことができた。相手国との交流でイニシアチブをとることができた。
想いを言葉や形にする力 (メッセージ作成・壁画制作)	4	図柄を決める際に、SDGsの12番のインフィニティのデザインを入れることを相手国に伝えたつもりだったが、残念ながら伝わっておらず、そこだけが残念な点である。
評価する力 (作品の鑑賞・学習の自己評価)	4	ニューズレターを作ることによって、それぞれに自己の振り返りができた。